

2. 火山の概況

(平成 19 年 3 月 2 日 ～ 平成 19 年 3 月 8 日)

【噴火した火山】

▲ 諏訪之瀬島【活発な状況（レベル 3）】：4 日、5 日に爆発的噴火が発生した。

【活動が活発もしくはやや活発な状況の火山】

- 樽前山【やや活発な状況】：A 火口及び B 噴気孔群では高温状態が続いていると推定される。
- 御嶽山【やや活発な状況】：火山性地震のやや多い状態が続き、山体のわずかな膨張が見られている。
- 三宅島【やや活発な状況】：噴煙活動は活発で、多量の火山ガスの放出が続いていると推定される。
- 硫黄島【やや活発な状況】：大きな隆起の地殻変動はやや鈍化しながら継続している。
- 桜島【比較的静穏な噴火活動（レベル 2）】：火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。
- 薩摩硫黄島【やや活発な状況（レベル 2）】：噴煙活動はやや活発で、火山性地震のやや多い状態が続いている。
- 口永良部島【やや活発な状況（レベル 2）】：火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

【静穏な状況となった火山】

- ◇ 霧島山（御鉢）【静穏な状況（レベル 1）】← 5 日にやや活発な状況（レベル 2）から引き下げ
：火山活動は静穏な状況となった。



注1 本資料中で記したレベルとは、火山活動度レベルを導入した火山におけるレベルを言う。

注2 記号の意味

▲：噴火した火山

●：活動が活発もしくはやや活発な状況の火山

◇：静穏な状況であるが観測データ等に変化のあった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山

①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

図1 活動解説を掲載した各火山の今期間の活動状況

【各火山の活動解説】

各記号の意味は次のとおり。▲：噴火が観測された火山。●：活動が活発もしくはやや活発な状況である火山。◇：静穏な状態であるが観測データ等に変化があった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山。

● なるまきさん 樽前山 【やや活発な状況】

A火口及びB噴気孔群では依然として高温の状態が続いていると推定される。
樽前山の火山活動はやや活発な状況が続いており、火口周辺では注意が必要である。
なお、噴煙活動・地震活動は低調な状態が続いており、地殻変動に特段の変化はなかった。

● おんたけさん 御嶽山 【やや活発な状況】

火山性地震はやや多い状態が続いている。今期間、火山性微動は観測されなかった。
気象庁のGPSによる地殻変動観測では、昨年12月から見られている御嶽山の地下の膨張を示すわずかな伸びの変化は、2月中旬頃から鈍化傾向が認められているが、現在も継続している。
御嶽山の火山活動はやや活発な状況が続いており、山頂付近では注意が必要である。
なお、遠望カメラ（けんがみね 剣ヶ峰の南東約14kmに設置）では、噴気などの表面現象に特に異常は見られなかった。

● みやけじま 三宅島 【やや活発な状況】

噴煙活動は活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上100～200mで推移した。
火山性地震はやや多い状態が続いている。火山性微動は観測されず、地殻変動に特段の変化はなかった。
7日に行った上空からの観測（警視庁の協力による）では、山頂火口内の噴気や地形の状況に大きな変化は見られなかった。
今期間は火山ガス観測を行わなかったが、三宅村によると山麓では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されており、噴煙活動に大きな変化が見られないことから、依然として多量の火山ガスの放出が続いていると推定される。
特に風下にあたる地区では火山ガスに対する警戒が必要である。また、雨による泥流にも注意が必要である。

● いおうじま 硫黄島 【やや活発な状況】

国土地理院及び防災科学技術研究所の観測によると、島内の地震活動は落ち着いた状態となっているが、昨年8月頃始まった島北部の元山地域もとやま付近での大きな隆起の地殻変動は、やや鈍化しながら継続している。
硫黄島の火山活動はやや活発な状況が続いており、従来から小規模な水蒸気爆発が繰り返されてきた島北部の元山地域を取り囲む円周上の領域（東部や北部の海岸部から阿蘇台陥没孔から千鳥ヶ原にかけて）では、今後も注意が必要である。

◇ きりしまやま おはち 霧島山（御鉢） 【静穏な状況（レベル1）】 ←5日にやや活発な状況（レベル2）から引き下げ

御鉢では、2月5日に振幅のやや大きな火山性微動が観測され、火山活動がやや活発な状況となった。しかし、その後、地震増加はなく火口縁を超える噴気も見られないなど静穏な状態で経過したことから、火山活動は落ち着いたものと判断し、5日にレベルを2から1に引き下げた。

● さくらじま 桜島 【比較的静穏な噴火活動（レベル2）】

南岳山頂火口及び昭和火口からの噴火は発生しなかった。
火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。地殻変動観測では、始良カルデラ（あいら 鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入による長期的な膨張は引き続き観測されている。
桜島では噴火活動が継続しており、南岳山頂火口及び昭和火口から半径2km以内では注意が必要である。

● ^{さつまいおうじま}薩摩硫黄島 【やや活発な状況（レベル2）】

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上 100～400mで推移した。火山性地震はやや多い状態が続いている。

薩摩硫黄島の火山活動はやや活発な状況が続いており、火口周辺では注意が必要である。

● ^{くちのえらぶじま}口永良部島 【やや活発な状況（レベル2）】

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

口永良部島の火山活動はやや活発な状況が続いており、火口周辺では注意が必要である。

なお、遠望カメラ（新岳火口の北西約3kmに設置）による観測では、新岳火口周辺の噴気等は観測されなかった。地殻変動に特段の変化はなかった。

▲ ^{すわのせじま}諏訪之瀬島 【活発な状況（レベル3）】

4日と5日に爆発的噴火があったほか、2日には噴煙が火口縁上400mに達する小規模な噴火が発生した。

火山性地震、火山性微動ともにやや多い状態が続いている。

諏訪之瀬島の火山活動は活発な状況が続いており、御岳火口から半径2km以内では注意が必要である。

表1 最近1か月に記事を掲載した火山及び各火山のレベル

概況番号	対象期間	北海道		東北		関東・中部				伊豆・小笠原諸島		九州・南西諸島															
		十勝岳	樽前山	吾妻山	草津白根山	浅間山	御嶽山	箱根山	伊豆大島	三宅島	硫黄島	福徳岡ノ場	九重山	阿蘇山	雲仙岳	霧島山 (新燃岳)	霧島山 (御鉢)	桜島	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪ノ瀬島						
																						記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル
10	3/2-3/8		●		①		①		①	●	●		①		①		①	◇	②→①	●	②	●	②	●	②	▲	③
9	2/23-3/1		●		①		①		①	●	●		①		①		①	●	②	●	②	●	②	●	②	▲	③
8	2/16-2/22	◇	●		①		①		①	●	●	●	①		①		①	●	②	▲	②	●	②	●	②	▲	③
7	2/9-2/15		●		①		①		①	●	●		①		①		①	●	②	▲	②	●	②	●	②	●	③
6	2/2-2/8	●	●		①		①		①	●	●	●	①		①		①	●	①→②	●	②	●	②	●	②	▲	③

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
御嶽山	火山観測情報第12号	3月2日 14:00	最近の火山活動評価。2月26日から3月2日13時までの活動状況。
	火山観測情報第13号	3月8日 16:00	最近の火山活動評価。3月2日から3月8日13時までの活動状況。
三宅島	火山観測情報第9号	3月2日 16:30	最近の火山活動評価。2月23日～3月2日16時までの活動状況。
霧島山	火山観測情報第3号	3月5日 15:00	2月5日以降、振幅の小さな火山性微動が時々発生する程度で、火山活動は静穏な状況となったため、レベルを2から1に引き下げた。